

平成27年度高松市公開事業評価 事業シート

事務事業名		交通安全教育等推進事業				事業開始年度		昭和41年度										
上位施策名		交通安全対策の推進				担当局		市民政策局										
根拠法令等		交通安全対策基本法				担当課		くらし安全安心課										
実施の背景		1960年代、交通戦争と呼ばれるほど交通事故が多発し社会問題化し、その後も、モータリゼーションの進展や道路交通網の整備により、交通事故件数は増加したが、昭和45年に交通安全対策基本法が制定され、国を挙げての交通安全対策が進められた。																
目的 (どのような状態にしたいのか)		いまわしい交通事故のない、明るく住みよいまちづくりに寄与する。																
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	市民 (特に交通安全教育は交通弱者といわれる子どもを中心に実施) ※高齢者に対する交通安全対策は、本事業とは別に高齢者交通安全啓発推進事業において実施している。																
	実施方法	■直接実施    ■委託    ■補助金																
	事業内容 (手段、手法など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種交通安全教育の実施（交通指導員による歩行・自転車の交通安全教室や交通安全講話など）</li> <li>高松市交通安全都市推進協議会及び高松市交通安全母の会連絡協議会等への補助金の支出とその活動への支援</li> <li>高松市自転車安全運転免許証事業（市内の小4生を対象に、学科及び実技講習を受講した児童に免許証を交付する）や新入学（園）児に対する交通安全用品の配布のほか、反射材効果体験教室や交通安全教室用冊子を作成</li> </ul>																
	関連事業 (同一目的事務事業等)	高齢者交通安全啓発推進事業（高齢者運転免許証返納促進事業・シルバードライバースクール・高齢者交通安全自転車大会の開催など）																
コスト			27年度（予算）		26年度（決算）		25年度（決算）		24年度（決算）									
	事業費合計		27,326	千円	23,732	千円	25,428	千円	25,753	千円								
	事業費内訳 (平成26年度分)		<ul style="list-style-type: none"> <li>交通指導員（6人）・事務員（2人）、短期アルバイトの人件費 16,634千円</li> <li>交通安全都市推進協議会、交通安全母の会連絡協議会への補助金 5,815千円</li> <li>自転車運転免許証用カード等購入費 297千円</li> <li>黄色いランドセルカバー購入費 380千円</li> <li>その他、交通読本・反射材教室資材購入費など 606千円</li> </ul> <p>※25年度決算額までは、高齢者交通安全啓発推進事業の経費を含む。</p>															
	人件費		2.5	人	7,381	千円	2.5	人	7,381	千円	3.5	人	7,240	千円	3.5	人	7,443	千円
	総事業費		45,779		千円	42,185		千円	50,768		千円	51,804		千円				
財源内訳	国県支出金				千円			千円			千円			千円				
	地方債				千円			千円			千円			千円				
	その他特財				千円			千円			千円			千円				
	その他特財の内容																	
	一般財源		45,779	千円	42,185	千円	50,768	千円	51,804	千円								
財源合計		45,779		千円	42,185		千円	50,768		千円	51,804		千円					

## 平成27年度高松市公開事業評価 事業シート

事務事業名	交通安全教育等推進事業			事業開始年度	昭和41年度	
対象数	【対象指標名】	単位	H26年度	H25年度	H24年度	
	幼稚園、保育所（園）、小・中学校の園児、児童、生徒数	人	50,340	52,621	51,012	
活動実績	【活動指標名】	単位	H26年度	H25年度	H24年度	
	幼稚園、保育所（園）、小・中学校での交通安全教室数	回	374	374	358	
成果目標 (目標設定理由等)	幼児、児童及び生徒に必要な交通ルール・マナーを身に付けてもらうために実施した交通安全教育の成果を、高松市内で子どもが関係した交通事故発生件数により定量的に把握する。					
成果 (目標達成状況)	【成果指標名】	単位	H26年度	H25年度	H24年度	
	子ども（未就園児～中学生）が関係した交通事故件数	件	172	187	216	
事業の実施状況と課題・今後の事業方針	<p>子ども向けの交通教室は中学校での教室（26校中10校で実施）を除き、ほぼすべての学校等で実施されている。また、交通安全啓発事業は各地区（校区）の交通安全協力会（自治会）や交通安全母の会、老人クラブなどと連携し、年3回の交通安全運動期間中を中心に交通安全キャンペーンなどを実施している。</p> <p>今後は、交通事故発生件数や傷者数が減少する一方、交通死亡事故が多発している状況を踏まえ、引き続き、現在の事業を継続するとともに、交通死亡事故の被害者になる割合の高い高齢者向けの事業の充実と加害者のほとんどを占める自動車運転者に向け、交通死亡事故抑止の取り組みを県や警察と連携して実施する。</p>					
住民意向分析	<p>平成26年度市民満足度調査結果報告書によると、各施策の不満足度について「交通安全対策の充実」は25年度の第1位から第7位と若干の改善が見られた。            （満足とやや満足の計 H26 32.1%←H25 20.9%）</p>					
類似都市の状況	<p>中核市の交通安全教育等推進事業について、交通安全教室や交通安全キャンペーンなど各種の事業は、概ね本市と同様の内容で行っている。</p>					
備考	<p>※中核市・・・人口20万人以上の都市で、政令指定都市を除いた、規模や能力などが比較的大きな都市。平成27年4月1日現在、45市が指定されている。</p>					

## 交通安全教育等推進事業

### 【高松市内の交通事故発生状況】

年度	発生件数（件）	死者数（人）	負傷者数（人）
H24	5,053	20	6,154
H25	4,787	14	5,870
H26	4,274	16	5,296

※参考 人口10万人当たりの交通事故発生件数 高松市 999.6  
全国の10万人以上都市（296か所）中 ワースト7位  
（近隣都市の状況）  
松山市 494.6 高知市 458.2 徳島市 780.1 岡山市 808.9

### 【平成26年度の主な事業実績】

#### ○交通安全教室実績

- ・ 保育所 138回
- ・ 幼稚園 112回
- ・ 小学校 107回
- ・ 中学校 11回
- ・ 養護学校等 6回

このうち、小学校では、新入学児童を対象に歩行時の交通安全教室と小学4年生を対象に自転車の安全な乗り方講習を受講した児童に自転車安全運転免許証を交付する高松市自転車安全運転免許証事業を実施している。



#### 【新入学児童対象の交通安全教室】

また、交通安全母の会や地域団体が自主的に交通安全教室を開催した。

このほか、新入学児童・新入園児に対し、鈴付リボン、ランドセルカバー、黄色いハンカチやワッペン及び交通安全絵本などを配布した。

## 交通安全教育等推進事業

### ○交通安全啓発事業実績

香川県交通安全県民会議と連携し、市内全域（45か所前後）で、県下統一の交通安全キャンペーン等を6回実施した。

また、地区（校区）交通安全母の会が中心となって、市内各地で交通安全キャンペーンが実施され、啓発資材などを配布した。



【県下一斉無言キャンペーン 木太町】

このほか、年間3回行われる交通安全運動期間中をPRするため、市内のコミュニティセンターや小中学校に啓発用のチラシを作成し配布した。



- ・春・秋の全国交通安全運動

各5,000枚

【春の交通安全運動交通安全啓発パレード】

- ・年末年始の交通安全県民運動

12,000枚

なお、交通安全キャンペーンの啓発資材やチラシなどは高松市交通安全都市推進協議会が作成・購入したものを使用している。